

1. 教育・保育提供体制の見込に対する実績及び状況について

(1) 保育所（園）・幼稚園・認定こども園の状況

令和2年度の市内こども園（保育認定）・保育所は、5か所、定員数は455人で、入所者数は、定員を64人下回りました。こども園（教育認定）・幼稚園については、幼稚園2園、認定こども園3園、幼稚園の定員155人に対し園児数は127人、認定こども園は定員数115人に対し園児数は71人です。令和2年度から、榛原西幼稚園が榛原幼稚園に統合し、菟田野保育所がこども園に移行しています。

また、全体計画値による入所者数は、保育認定の実績は見込みを下回っていますが、一方、教育認定の実績は見込みを上回っています。

◆保育所（園）、幼稚園、認定こども園の定員及び入所者数

【単位：人】

				R1	R2	R3	R4	R5	R6
保育所	公立	菟田野保育所	定員数	130					
			入所者数	33					
		榛原北保育園	定員数	100	100	100	100	100	100
			入所者数	92	89	—	—	—	—
	私立	しらゆり保育園	定員数	150	150	150	150	150	150
			入所者数	140	139	—	—	—	—
こども園 (保育認定)	公立	大宇陀こども園	定員数	90	90	90	90	90	90
			入所者数	79	83	—	—	—	—
		室生こども園	定員数	60	60	60	60	60	60
			入所者数	40	43	—	—	—	—
		菟田野こども園	定員数		55	55	55	55	55
			入所者数		37	—	—	—	—
こども園 (教育認定) 幼稚園	公立	大宇陀こども園	定員数	70	70	150	150	70	70
			入所者数	65	43	—	—	—	—
		室生こども園	定員数	30	30	60	60	30	30
			入所者数	14	15	—	—	—	—
		菟田野こども園	定員数		15	15	15	15	15
			入所者数		13	—	—	—	—
		榛原幼稚園	定員数	85	85	210	210	70	70
			入所者数	64	81	—	—	—	—
		榛原東幼稚園	定員数	70	70	280	280	85	85
			入所者数	53	46	—	—	—	—
		榛原西幼稚園	定員数	35					
			入所者数	22					

資料：こども園は教育認定と保育認定で別々に計上（各年4月1日） 幼稚園は学校基本調査（各年5月1日）

◆全体計画値による入所者数

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	保育認定	419	415	387	354	327	316
	教育認定	213	186	169	150	136	133
実績	保育認定	384	391	-	-	-	-
	教育認定	218	198	-	-	-	-
計	見込み	632	601	556	504	463	449
	実績	602	589	-	-	-	-

2. 子育て支援13事業の利用実績等状況について

(1) 利用者支援事業

子ども及びその保護者が、情報提供・相談支援等に加えて、予防的な効果も期待されることから、各地域に1か所相談窓口の設置を目指します。

【単位：箇所数】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	箇所数	4	5	5	5	5	5
実績	箇所数	3	5	-	-	-	-

令和27年4月から、子育て支援センターすくすく（菟田野）、認定こども園3園（大字陀・室生・菟田野）の4箇所と中央保健センターにおいて実施しています。榛原地域は、就学前施設が未整備のため未設置となっています。相談業務については、宇陀市役所で行っています。

(2) 延長保育事業

保護者の勤務時間や通勤時間の都合で、保育標準時間を超えて継続的に保育が必要な場合や、急な残業等で一時的に保育時間の延長が必要な場合に利用するものです。

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	提供施設	確保の方策
利用人数	見込み	105	73	69	63	58	56	私立保育園 園で対応	私立保育園及びファミリー・サポート・センター事業にて対応
	実績	42	55	-	-	-	-		

※延長保育とは、保育標準時間（7：30～18：30）を超える、7：00～7：30と18：30～19：30の保育をいいます。

しらゆり保育園でのみ実施しています。榛原区域と菟田野区域は前年度にくらべ、利用人数は増加しています。一方、大字陀区域は見込み数を下回っています。また、室生区域は令和2年度の利用はありませんでした。

(3) 放課後児童健全育成事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1年生から6年生までの児童が、学童保育室を利用するものです。 【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
在籍児童数	見込み	208	218	210	208	198	185
	実績	210	209	—	—	—	—
箇所数	見込み	7	7	7	7	7	7
	実績	7	7	—	—	—	—

資料：実績児童数は3月1日時点の数値

平成27年度に、室生小学校に設置したことにより、各地域に提供体制が整備できました。令和2年度の状況は実績、見込み数ともに下回っています。

(4) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者が疾病等で児童の養育が一時的に困難となった場合に、施設で児童を保護・養育するものです。

【単位：件】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	利用人数	0	8	8	7	7	7
実績	利用人数	0	0	—	—	—	—

県内児童福祉施設と委託契約により、受け入れ体制を整備しています。養育が一時的に困難となった場合のニーズにも対応可能となっています。平成30年度に2件の利用がありましたが、令和2年度の利用実績はありませんでした。現在県内7箇所の施設と契約を締結しています。

(5) 地域子育て支援拠点事業

子育ての不安感、負担感を軽減するため、乳幼児とその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

【単位：人、箇所】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	1,783	2,417	2,348	2,263	2,140	2,047
	実績	2,235	1,337	—	—	—	—
設置箇所	見込み	3	4	4	4	4	4
	実績	3	4	—	—	—	—

子育て支援センターすくすく（菟田野）、認定こども園3園（大宇陀・菟田野・室生）の4か所で実施しており、榛原地域における就学前施設の整備については現在検討段階です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策における緊急事態宣言の影響で、実施回数が少なく、見込み数を下回りました。

（6）一時預かり事業（1号認定対象）

通常の幼稚園教育時間の開始前や終了後、夏休みなどの幼稚園休業日に園児を預かる事業です。

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	5,656	4,679	4,264	3,797	3,434	3,351
	実績	5,384	3,022	—	—	—	—

大宇陀・室生・菟田野こども園、榛原・榛原東幼稚園、の5園で幼児教育在園児を対象とした一時預かりとなります。利用状況を見ると、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策における緊急事態宣言の影響で、約3,000人と前年度にくらべ、大きく減少しました。

（7）一時預かり事業（未就園児等）、短期支援事業（トワイライトステイ）等

保護者が冠婚葬祭や育児疲れなどの理由により、家庭での保育が一時的に困難となった子どもについて、主として昼間、こども園等で一時的に預かる事業を一時預かり事業といいます。

また、その他にファミリー・サポート・センター事業（未就学児実績）、夜間のみ預かるトワイライトステイがあります。

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	1,681	1,475	1,353	1,217	1,107	1,070
	実績	1,109	784	—	—	—	—
（内訳）一時預かり		833	779	—	—	—	—
（内訳）ファミサポ		276	5	—	—	—	—
（内訳）トワイライトステイ		0	0	—	—	—	—

大宇陀・室生こども園、菟田野こども園、榛原北保育園、しらゆり保育園で未就園児及び幼児教育の園児を対象とした一時預かりとなります。令和2年度の利用状況は、新型コロナウイルス感染症対策における緊急事態宣言の影響で、前年度実績並びに見込み人数を下回っています。

(8) 病児・病後児保育事業、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業）

子どもが病気又は病気の回復期にあり、保育所等が利用できず、保護者も就労等で保育できない場合に利用するものです。

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	20	17	16	15	13	13
	実績	3	1	—	—	—	—
箇所数		1	1	—	—	—	—

平成 27 年 4 月より病後児保育室「りすぐみ」（大字陀こども園）を開設しています。令和 2 年度の利用人数は新型コロナウイルス感染症対策の影響で 1 人でした。また、ファミリー・サポート・センターでの実績もありません。

(9) 妊婦に対する健康診査

母子保健法第 13 条に基づき、妊婦及び胎児に影響を与える疾病の早期発見や生活習慣の見直しや改善により、疾病予防と健康増進を図ることを目的として健康診査の費用の一部を助成する事業です。

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	129	98	94	91	84	81
	実績	121	91	—	—	—	—

本市では、上限を 97,500 円として、妊娠中に受診する 14 回の妊婦健康診査受診料を補助します。令和 2 年度の実績はほぼ見込み通りとなっています。また、令和 3 年度からは、上限が 100,000 円に変更になりました。

(10) 乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等

生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、乳児及びその保護者の心身の状況ならびに養育環境の把握を行い、子育てに関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつける事業です。本市では、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」という名称で実施しています。

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	129	103	99	96	89	86
	実績	106	84	—	—	—	—

対象出生数の減少に伴い訪問件数の実績は減少しており、令和2年度の訪問は100人を下回りました。

(11) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

育児の援助を依頼したい人と協力したい人が会員となって一時的、臨時的に有償で子どもを自宅で預かる相互援助活動です。（就学児実績）

【単位：人】

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	17	20	19	18	17	16
	実績	24	0	—	—	—	—

事業の利用状況をみると、参観日や公的事業の援助が多く、個人の援助によるものについては、少数となっています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で参観日や公的事業の中止により、実績人数はなしとなっています。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

教材費や行事参加費など、教育・保育施設が保育料に上乗せ徴収を行う際に、実費負担の部分について低所得者の負担軽減を図るため、公費による補助を行うものです。令和元年10月より開始した「幼児教育保育の無償化」に伴い実施しており、令和元・2年度ともに実績人数は1名でした。

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	見込み	1	1	1	1	1	1
	実績	1	1	—	—	—	—

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

多様な主体による特定教育・保育施設等の設置・運営を促進し、新規施設事業者が円滑に事業を実施できるよう、新規施設等に対する支援、相談・助言、連携施設のあっせん等を実施するものです。

新規事業者への情報提供や認可化に向けた支援を行います。

